

## 近江八幡市第2期商工業振興ビジョン素案にかかるパブリックコメント（意見及び回答）

番号	意見箇所	意見	回答
1	31ページ 施策3 将来イメージ（○の2つ目）	文頭「市内の名所や観光地では」と限定しなくても良いのかなと感じました。	ご意見の通りであると考えますので、表現を修正いたします。
2	31ページ 施策3 指標「観光入込客数」	平成30年から令和4年、令和10年の数値が右肩上がりの目標に対し、交通インフラが遅れている感じがします。渡合橋付近をはじめ、市内の各道路では渋滞や道幅が狭い箇所があり、さらに湖週道路で事故が発生すると、市街地へ迂回されることで大変混み合い通行が危険になることがあります。	いただいたご意見については、関係部局と共有し、今後の計画推進の検討等に活かしてまいります。
3	27ページ 施策1 指標「ワーク・ライフ・バランス促進の取組事業数」、「新規求人数（東近江圏域）」	策定時値が令和2年9月時点となっていますが、他の施策の指標が年や年度での表記になっているため、「ワーク・ライフ・バランス促進の取組事業数」についても3月末時点での数値に統一した方がいいと思います。また、「新規求人数（東近江圏域）」についても、現状値は4月ではなく、3月末にされた方がいいと思います。	ご指摘いただいた通りであると考えますので、時点設定を整合し、修正いたします。また、目標値は最新状況を反映した数値に修正いたします。
4	33ページ 施策4 指標「事業承継に関する支援数」	目標値を20件に設定されていますが、今後、事業承継に対するニーズが現実的にどの程度高まるか、また、支援が進展するスピードを見極める必要があります。策定時の想定と現状では少し乖離があり、目標値の見直しが必要であると思います。	ご指摘いただいた通りであると考えますので、ご意見を参考にしつつ、目標値設定を再度検討いたします。
5	33ページ 施策4 指標「事業計画策定件数」	計画策定の支援件数は、その時代の背景や景気状況に応じて国の支援策が変わることで、大きく影響を受ける傾向があり、目標値の見直しが必要であると思います。	ご指摘いただいた通り、目標値については慎重に考慮する必要があるため、今後の状況に応じて柔軟に対応できる目標値設定となるよう検討いたします。
6	37ページ 施策6 指標「市内での開業件数」	目標値を45件（令和11年）と示されていますが、市の総合計画では、50件（令和10年）となっているので、整合させた方がいいと思います。	記載誤りのため、修正いたします。
7	39ページ 施策7 指標「ブランド認定数」	ブランド認定は、その地域の優れた商品や製品の技術や商品価値を認定する制度であり、今後もブランド品質の維持・向上をしていくためには、相応の水準を維持し、厳選した商品を認定することが重要であると思うので、目標値の設定根拠の見直しが必要であると思います。	ご指摘いただいた意見内容の通りであると考えますので、ブランド品質の維持・向上を目指しながら、それに見合う商品開発にも力を入れていくことを必要と考え、直近の数値をもとに目標値の設定を再検討いたします。